

# 事務局便り

令和5年12月10日



## —令和5年度春期研修会 ハイフレックス型開催のご案内—

日程：令和6年3月26日（火）10：00～16：00

会場：家庭クラブ会館2階ホール オンライン：Zoomによる

テーマ：家庭科における授業に活かすICT

講師：お茶の水女子大学附属中学校 家庭科教諭 有友愛子先生

本協会常任理事でもある有友愛子先生に講師をお願いし、ICT活用の研修会を開催します。午前中は、有友先生からの実践紹介、午後からは、各自のパソコンやタブレットを使ってその実践を行ってみる予定です。午後からは、オンライン参加者への対応が難しいので、見学のみとさせていただきます。オンライン参加者からの質問等は、会場参加者への対応が終わってから応じる予定です。その関係で参加費を会場参加とオンライン参加で分けました。ICT活用が不得意と思っている人こそ、この機会に会場参加して、実際に操作してICT活用の技を身につけてみませんか？ 多くの皆様のご参加をお待ちしております。申し込み方法などの詳細は、同封の案内チラシをご覧ください。

## —令和6年度第74回研究大会 講演講師

京都女子大学 教授 <sup>おもて</sup> <sup>ま</sup> <sup>み</sup> 表真美先生に決定！—

令和6年度の研究大会一日目の講演講師が決定いたしました。表先生には、平成27年度機関誌第2号で「諸外国の家庭科教育2 ドイツ初等・中等教育における家庭科教育」をご執筆いただきました。研究大会でも海外の家庭科教育についてご講演いただく予定です。

下記の日程ですので、予定に入れておいてください。どうぞご期待ください。

開催日：令和6年8月6日（火） 7日（水）の2日間

方 法：ハイフレックス型開催 会 場：家庭クラブ会館2階

## —研究調査の×切を延ばしました！ ご協力をお願いします！—

10月にご依頼した「家庭科におけるGIGAスクール構想でのICT活用に関する調査」について×切日を過ぎましたが、回答が少数ですので、1月末日までに×切を延ばしました。同封しました依頼書のGoogleフォームからご回答をお願いいたします。また、今回、紙の調査用紙を同封しましたので、紙の調査用紙での回答も可能です。どんな形でも結構ですので、調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。また、会員だけでなく、会員でない方も対象とすることと致しました。回答者全員に報告書をお送りしますので、お知り合いの方にもお声掛けいただけると嬉しいです。ZKKホームページの研究調査のサイトにアンケート用紙が掲載されていますので、ご紹介ください。

## —機関誌『家庭科』授業実践事例 初めての投稿事例を掲載！—

本年7月から「授業実践事例自推投稿」の募集を始めたところ、磐田東高等学校の清水雄太先生から原稿が送られてまいりました。編集会議で審議し、修正後の原稿が今回掲載となりました。清水先生、ご投稿いただきありがとうございます！投稿規定等を機関誌4号p32に掲載しております。皆様からの投稿原稿をお待ちしております！！

### \*シリーズ～全国家庭科教育協会の歴史(4) 全国高等学校家庭クラブ連盟の結成まで～

#### ①機関誌『家庭科』における“学校家庭クラブの歌曲募集について”

前号でご紹介した「振興資金募集」に書かれた事業の計画の中に「学校家庭クラブ(FHJ)に関して(1)歌曲選定(2)FHJの歌曲レコード吹込みと販売(以下省略)」とあった。「振興記資金募集」より4か月前に発行されている機関誌No.5(1951年6月発行)に右下の記事の掲載があった。記事によると、米国オレゴン州のFHAより日本のFHJへ15ドルが送られてきたので、FHAの歌曲を募集、優秀作品を3作品選出するとある。その後、機関誌No.12～13(1952年1月発行)に、「東京都高等学校家庭科ホームプロジェクト発表会 クラブ総会並に当選歌曲発表会」の記事が掲載された。この発表会は、東京都高等学校家庭科教育研究会と東京都高等学校家庭クラブ連盟との共催で開催されており、その最後に当選歌曲が発表されている。その発表の前に、都立南多摩高校の仙波(千代)先生がその経過報告をしており、「FHAからの15ドルだけでなくさらにウイリアムソン女史からも帰国後に15ドルが送られてきて、アメリカの援助資金は30ドルで、全国家庭科教育協会が全国的に募集をした。」「全日本国語教育協議会と東京都高等学校音楽研究会に依頼して審査した。」とある。残念ながら、当選したのは誰の歌曲なのか、どんな歌なのかは記載がなかったが、全国高等学校家庭クラブ連盟結成20年記念の「20年のあゆみ」に記載があった。東京都立南多摩高等学校、東京都立駒場高等学校、広島県立福地高等学校の3校であった。その中の一つの楽譜の掲載もあった。また、FHAとの接点は、仙波千代先生が昭和26(1951)年に渡米した時に、FHAの会長と話をしたことであったことも記されていた。

全国家庭クラブ連盟が結成される前から、全国家庭科教育協会が、歌曲の募集をするなどの準備をしていたのである。

#### 学校家庭クラブの歌曲募集について

今回OIEあてに米国オレゴン州のFHA(Future Homemakers of America)から、日本の学校家庭クラブFHJ(Future Homemakers of Japan)に一五ドルが贈られてきた。この一五ドルを、FHJのために最も有効にお使いください。直ちにウイリアムソン女史、山本キク先生と相談の結果、これを以て全国からFHJの歌を募集し、その中から優秀作品三つを選び、これを印刷して全国に配布、会合のたびに、

全員楽しく唱和し、友好をあたためたいということになった。募集要項は次の通り。  
期限 七月末日まで到着のこと、延着の分は審査しない。  
曲目歌詞 制限なし  
審査 本部において適當な人に委嘱する  
発表 當選校名は発表するが作品には校名を附せず  
宛先 東京都杉並區和泉町二〇一協會事務所